



未来をひらく

【特集】子どもの学びをより豊かに! ～専科指導の推進について～

新学習指導要領では、外国語教育の拡充、プログラミング教育の導入など、教科の幅が広がります。

このような変更が、子どもたちにとって負担となることなく、より効果的で豊かな学習となるよう、本市では今年度より、小学校における「専科指導」を、本格的に導入しています。

専科指導とは?

通常、小学校では、担任教員がすべての教科について授業を行います。中学校のように学級の枠を超え、担任以外の教員が特定教科の授業を行うことを**専科指導**といい、その授業を受け持つ教員を**専科指導教員**と呼びます。



私は、教務主任です。5・6年生の理科の授業を専科指導として担当しています。

この学級の理科以外の授業を担当します。

専科指導教員

例えば 北九州市A小学校での専科指導は次のようになっています。

■専科指導を行ったときの6年生の1週間の時間割を見ましょう。

	月	火	水	木	金
1校時	国語	算数	理科	図工	体育
2校時	算数	図工	国語	外国語	算数
3校時	理科	社会	体育	算数	国語
4校時	社会	国語	外国語	国語	家庭
5校時	体育	音楽	算数	総合	社会
6校時	総合	学活	裁量	道徳	理科



6年生では、理科は週3回。理科の授業を私がすべて担当。理科の評価も私が行います。

専科指導教員

今年度は、123校で専科指導を実施しています。そのうち10校には、これまで中学校の外国語や保健体育等の授業において、専門的な指導を行ってきた教員を配置しています。



専科指導を行うことで次のような効果が期待できます!

- 1 教科に特化した教員の授業 → 子どもの意欲が向上し 学びが深まる
- 2 担任 + 専科教員の授業 → 子どものよさを多面的に見ることができる
- 3 教員負担の平準化・働き方の改善 → 負担軽減により きめ細かい指導ができる



授業や学習環境等の側面から、子どもの学びを一層豊かに!



児童

体育の先生から50mを速く走るためのトレーニングや走り方を分かりやすく教えてもらった。教えてもらったトレーニングや走り方を自分で練習して、いいタイムを出したい。

保護者



今日、子どもが帰ってきて、すぐに『お母さん、背景を赤で塗っても良いって知ってた? 赤で塗っても良いんだよ。そうすることで、前に描いている木や建物を引き立てる効果があるんだって。すごいでしょ!』と笑顔で言ってきました。最近、図工が楽しくてたまらない様子です。

専科指導教員が授業を行う時間を利用して、他の教科について、より良い授業準備ができるようになりました。

教員



地域人材を活用した部活動指導!

～子どもたちへのより良い指導と教員の負担軽減に向けて～

人材≫①

部活動外部講師

昭和61年度より、専門的技術を持つ地域の人材を、外部講師(有償ボランティア)として配置し、顧問教員のサポートを行っています。

平成30年7月1日現在、219名の外部講師が指導を行っています。

人材≫②

部活動指導員

平成29年度より、教員の部活動指導に係る負担を軽減するため、顧問教員に代わって、土・日・祝日の部活動指導や、練習試合等への引率業務を担うことができる「部活動指導員」を採用しています。

今年度は、19名の部活指導員を配置しました。

人材≫③

部活動サポート講師

プロ野球・元福岡ソフトバンクホークスの柴原選手や、サッカー・ギラヴァツ北九州のスタッフなど、スポーツ・文化の専門家を講師として招き、生徒が高いレベルの指導を受ける機会を創出しています。

人材≫④

専門技術を持つNPO法人への委託

地域人材のさらなる活用を図るため、平成30年度より、部活動指導の外部委託を、モデル的に実施しています。

今年度は、八幡東区の尾倉中学校において、NPO法人北実会が、陸上部の生徒を指導しています。



スポーツや芸術を通して 個性や多様性を認め合おう!

～特別支援学校と地域校の交流で醸成する「心のバリアフリー」～

「心のバリアフリー」という言葉を聞いたことは、ありますか?

「心のバリアフリー」とは、様々な心身の特性や考え方をもつすべての人々が、相互に理解を深めようとコミュニケーションをとり、支え合うことです。

本市では、特別支援学校と地域校(小・中・高等学校)の児童生徒がペアになって、本市発祥の「ふうせんバレーボール」、アイマスクを着用して行う「フロアバレーボール」等の障害者スポーツを行ったり、文化芸術活動を体験したり、障害者アスリートやアーティストの体験談を聞いたりしながら、お互いの良さや違いを理解していく取組みを行っています。

子どもたちは、ルールや内容をアレンジしたり、クラスマッチの種目に取り入れたり、「誰もが楽しめるように!」と、自ら工夫しながら、楽しんで学習しています。



フロアバレーボール



いろいろペガールボール

■心のバリアフリー推進事業対象モデル校(平成29年度より継続)

区	特別支援学校	地域校
門司	門司総合特別支援学校	小森江西小学校
小倉北	県立小倉聴覚特別支援学校	三郎丸小学校
小倉南	小倉南特別支援学校	県立北九州高等学校
若松	小池特別支援学校	ひびきの小学校
八幡東	県立北九州視覚特別支援学校	高見中学校
八幡西	八幡西特別支援学校	大原小学校
戸畑	北九州中央高等学園	北九州市立高等学校

学校の
話題提供

小・中・高等学校 合同体カテスト

～先輩をお手本に!みんなで体カアップ!～

6月19日、城野小学校において、福岡県立北九州高等学校、城南中学校及び城野小学校の3校合同による体カテストが行われました。

これは、児童生徒の健康増進と体カアップを目的とするもので、学校種別や年齢の異なる3校の児童生徒が一緒になって、上体起こし、反復横とび、50m走、ボール投げ等に取り組みました。

測定の場面では、多くの小・中学生が、普段体育の専門コースで学んでいる高校生の本格的な動きを見てお手本にしたり、アドバイスを受けたりすることで記録を更新することができ、充実した様子でした。



また、小学生は、中学生を将来のモデルとし、中学生は、小学生の先輩としての自覚をもつとともに、高校生の姿を、将来のモデルとして触れ合うことができる等、地域の実態に則した小中高の連携の取り組みとして、大変意義深いものとなりました。

今年度から、すべての市立小学校において、5年生全員を対象として、スクールカウンセラー（学校において教職員とは別に、児童生徒の問題や悩みに対する相談援助を行う専門職員）による面接を実施しています。

これは、問題の発生を未然に防止してこうとする取組みで、子どもたちが、各小学校に派遣されているスクールカウンセラーの顔や名前、人となり等を知り、これから思春期を迎え、悩みや不安を抱えた際に、相談しやすい環境をつくらうとするものです。

既に面接を実施した学校では、担任教員とスクールカウンセラーとの情報共有が進む等の効果が現れており、今後は、意見や感想を集約して、さらに児童が相談しやすい環境づくりに取り組んでいきます。

スクールカウンセラーによる 小学校5年生全員面接を実施中です!



いつでも気軽に
話し合おう!

中学生が考えたレシピが給食に登場!

北九州野菜いっぱい 🥕🍅🍎🍌 🍲 ドライカレー (๖^o^๖)



6月29日、市立小・中・特別支援学校の給食に、中学生の考案した「北九州野菜いっぱいドライカレー」が登場しました。

この献立は、市立中学生を対象に実施した「学校給食献立レシピコンクール」において、最優秀賞にあたる「教育委員会賞」に選ばれたもので、じゃがいも、小松菜、たまねぎ、たけのこ、トマトなど、たくさん野菜を食べることができます。当日の給食では、市内産の野菜をふんだんに使用して提供しました。



子どもたちにも大変好評で、今後その他の入賞作品についても、給食として提供する予定です。

優れた教育活動を行う教職員等を表彰しました

8月7日、第15回北九州市優れた教育活動等実践教職員等の表彰式を行いました。

教育委員会では、平成16年度より、優れた教育活動を実践している教職員の意欲や努力を称え、毎年1回教職員及び団体を表彰しており、これまでの受賞者は、のべ595名・3団体にのびります。

今年度は、保護者や児童からの信頼の厚い幼稚園・小学校教職員と、担当する教科の授業がとても優れている中学校教職員の、3名の特別表彰者を含め、小学校18名、中学校8名、幼稚園1名、特別支援学校1名の教職員のほか、2名の学校事務職員と、2つの学校を表彰しました。





主体的・対話的で 深い学びの実現に向けて

新委員 大坪 靖直

本年7月に、教育委員を拝命いたしました。福岡教育大学で心理学を担当しています。

本市の教育との関わりでは、教育センターでの調査研究に参加したり、小中連携やいじめ問題等の委員会の委員を務めたりしてきました。大学教員がこのような役割を担う時には、指導者とか学識経験者という肩書きをいただくのですが、むしろ、貴重な経験をさせていただくことが多いので、私自身、北九州市の教育行政の中で鍛えていただいたと受け止めています。

さて、新しい学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」が求められています。この表現を文字どおりに読み解けば、「深い学び」が中心的な言葉(被修飾語)で、「主体的」と「対話的」が修飾語になります。したがって、「深い学び」の方が、主体的な学びや対話的な学びよりも大切な要件であることがわかります。

心理学的に言うところ、「深い学び」とは深い情報処理を伴う学習のことで、浅い情報処理を伴う学習に比べて、理解が促進されたり、記憶が促進されたりすることが知られています。そして、心理学者が情報処理の深さを操作するために用いる方法の1つが主体性(興味・関心や重要度)であり、もう1つが対話性(まとめさせたり質問に答えさせたりすること)なのです。すなわち、心理学者たちは、子どもが興味・関心のあることを学んだり、子どもたちに学んだことを要約させたりする時には、深い情報処理を伴った学習が成立しているはずだと考えています。

もしかししたら、「深い学び」のタイプの中には、主体的でも対話的でもない学びもあるのかもしれませんが、「主体的」で「対話的」な学習は間違いなく「深い学び」のタイプの1つです。

このように考えれば、学校教育の中で「深い学び」を実現させるために、まずは「対話的な学び」の要素を増やすことから始めるのが有効です。なぜなら、対話は容易に求めることができますが、興味・関心や重要度などの主体性は子どもが決めることなので、それを操作するのは容易ではないからです。先生方は、学んだことをまとめさせたり、説明させたり、友だちに質問させたりする活動を増やしてください。そして、保護者の方は、「今日は、学校でどんな勉強をしたの?」とお子さんに尋ねてください。そうすると、子どもは対話することによってさらに情報処理が深まります。もしかすると、このような経験を繰り返すうちに、大人は勉強したことを聞きたがっているのだなということが子どもに伝わり、少なくとも後で困らないくらいには勉強しておこうかという主体性(?)を子どもが引き受けてくれるようになるかもしれません。

微力ではありますが、北九州市の子どもたちのために尽力する所存です。どうかよろしくお願いいたします。

小倉南特別支援学校 石橋 湖巴さんが 水泳世界大会に出場しました!

市立小倉南特別支援学校中学部3年の、石橋 湖巴(こは)さんが、7月19日から29日まで、カナダのノバスコシア州で開催された、「世界ダウン症水泳選手権 in カナダ」に出場しました。

石橋さんは、ダウン症で「右手全指欠損」の障害がありますが、選手権出場を目指し、家族やコーチ等に支えられながら、日々練習



に励んできました。

目標としていたメダルの獲得はならなかったものの、出場した4種目中2種目で、自己ベストタイムを更新するとともに、25m背泳ぎでは、7位入賞を果たしました。



若手教員のサークル!チャンス!チャレンジ!チェンジ! 教C寺子屋 一休さん

実施レポート

市立学校の若手教員をサポートする、「教C寺子屋 一休さん」が始まりました。
若いせんせいは、頑張っています!
しかし、「教育」へのニーズが複雑化・高度化していく今日において、悩みや不安を抱え、立ち尽くしてしまうこともあります…。



「教C寺子屋 一休さん」は、そんな若手教員を「一人ぼっちにさせない」、本市の思いを象徴する新しい研修のカタチで、学校を離れ、一休みしながら、リラックスした雰囲気の中で、先輩教員から技術指導を受けたり、学校の種類を超え交流したりする機会を創出していく取り組みです。



教育委員会からのお知らせ

① 教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検及び評価を公表しています

「子どもの未来をひらく教育プラン」に掲載された施策に沿って、事務を点検・評価し、その結果を市議会に報告するとともに、市のホームページで公表しています。

北九州市教育委員会事務の点検・評価

検索

http://www.city.kitakyushu.lg.jp/kyouiku/file_0043.html

② 北九州市公立学校の講師等を募集しています

任用にあたっては、登録が必要となります。登録は随時受け付けていますので、市のホームページで登録方法の詳細をご確認ください。

講師等の登録方法 北九州市

検索

http://www.city.kitakyushu.lg.jp/kyouiku/file_0312.html

③ 学校施設(体育館や運動場など)の使用料について

平成31年度から、学校施設を利用される方に、使用料をご負担いただくことになりました。ただし、子どもたちによる使用や、子どもの健全育成や地域振興を目的とした団体等による使用は、減免の適用により無料となります。詳細は、市のホームページでご確認ください。

学校施設使用に伴う負担について 北九州市

検索

<http://www.city.kitakyushu.lg.jp/kyouiku/03200025.html>